

第九章 様式集

給 水 装 置 承 認 申 込 関 係

様式番号	様 式 名	備 考
1	給水装置工事承認申込書：注1	公社窓口交付
2	給水装置工事に関する利害関係人同意書	様式は任意 参考
3	給水装置工事設計図（略図）	
4	給水装置工事承認申込書取消届	
5	給水装置工事承認申込書設計変更届	
6	給水装置工事竣工図	裏面あり
7	短期給水新設願	
8	給水装置工事工期延期届	
9	給水管理設工事写真集	
10	新設栓使用開始申込書	
11	水道メーター設置場所報告書	
12	新設アパート・中高層建築物水道メーター設置確認届	
13	共用管寄付申出書	
14	共用管寄付申出に伴う土地使用承諾書	
15	委任状	
16	給水装置所有者変更届	
17	代理人（選定・変更・取消）届	
18	住所変更（所有者・代理人）届	
19	開発行為等による「舗装先行取出し工事」の承認願	19-1, 19-2, 19-3
20	先行取出し工事明細表	
21	機能水器具設置申請書	
22	機能水器具設置報告書	
23	仙台市鉛製給水管解消工事費助成金交付申請書	裏面あり
24	給水装置工事資金融資あっせん申請書	裏面あり
25	鉛製給水管布設替工事同意書	
26	舗装本復旧工事計画書	
27	舗装本復旧計画（完了）図	
28	舗装本復旧工事完了届	
29	給水装置工事社内検査結果報告書	
30	中高層建築物直結給水装置工事社内検査結果報告書	30-1 受水槽式用

様式番号	様 式 名	備 考
3 1	給水装置工事再検査申込書	
3 2	給水装置工事中間検査申込書	
3 3	給水装置工事しゅん工検査合格証明書	
3 4	住宅用スプリンクラー設備設置条件承諾書	
3 5	特定施設水道直結式スプリンクラー設備設置条件承諾書	
3 6	給水装置工事主任技術者変更届	
3 7	開発行為に伴う給水の申込書	
3 8	使用材料認証品確認書	
3 9	給水装置の更生工事施行に係る事前調査結果報告書	
4 0	更生工事施行計画書	
4 1	水道加入金後納取扱申請書	
4 2	災害危険区域内の給水装置廃止届	
4 3	給水用具設置承諾書	
4 4	委任解除届及び新委任届	
4 5	分岐・分岐止工事実施状況報告書	
4 6	継続的給付を受けるための申込書	

※注 1：様式－1 については，水道局保存するので，公社窓口より申込用紙交付のうえ申請して下さい。

給 水 装 置 修 繕 工 事 施 工 件 数 報 告 書 関 係

様式番号	様 式 名	備 考
4 7	給水装置修繕工事施工件数報告書（登録店報告用）	
4 8	給水装置修繕工事施工件数報告書（登録店以外用）	

給 水 装 置 工 事 承 認 申 込 書

印(申込者)

押印する場合は「6.申込者」と「9.委任者」欄の押印必要

1. 給 水 装 置 場 所 仙 台 市 区		9. 委 任	
(住所コード:)		委 任 事 項 ①給水装置工事承認の申込及び取消に関する一切 ②給水装置工事に関する手数料の納入・還付に関する一切 ③道路復旧の間接費の納入・還付に関する一切	
2. 給 水 種 別 専用栓・共用管・共用栓・消火栓		委 任 者 住 所	
3. 水 道 番 号 第 号		(給水装置所有者) ※ ¹ 氏 名	
第 号 ～ 第 号	号	(指定番号:第 号)	
4. 工事申込内容 新 設 ・ 改 造 ・ 装 廃		住 所	
5. 工事しゅん工予定日 令和 年 月 日		氏 名	
6. 申 込 者 住 所			
(給水装置所有者) (フリガナ)			
※ ¹ 氏 名			
加入金及び手数料については、仙台市水道事業給水条例第三十三条の二及び第三十四条の規定に合意します。			
7. 主 任 技 術 者 ※ ²		交付番号	
8. 関係者の承諾 土地・共用管・専用栓・その他()			
この工事に関する利害関係人の同意は、すでに申込者が得ていますが、万一、利害関係人、その他の者から異議があっても、すべて申込者の責任において解決します。			
*給水装置台帳(給水装置工事しゅん工図)については、水道事業の維持管理等に使用する場合があるため、公益財団法人 仙台市水道サービス公社で保管・管理することに同意します。			

水道法第24条の3(業務の委託)に係る事項														
申 込 受 付	係 員	収 受 番 号		設 計 審 査	課 長	係 長	係 員	水 道 加 入 金	相 殺 (装 廃 専 用 栓 番 号 及 び 口 径)		金 額	調 定		
		令和 年 月 日												
	第 号													
手 数 料	局 管	分 岐	分岐止	工 事 用 水	設 計 審 査 手 数 料				し ゅ ん 工 検 査 手 数 料				調 定	
	私 管			口径 φ mm	2 階 以 下 で 口径25mm未満	3 階 以 上 又 は 口径25mm以上	受水槽の新設 又 は 改 造	装 廃	現地(2階以下口径 25mm未満・装廃含)	現地(3階以上又は口径 25mm以上又は受水槽)	写真検査	書類検査		
	取出再利用		有	しゅん工受理日										
収 納 印	水道加入金		手 数 料	特 記 事 項					協 議	区 分	開発負担金 有・無	申 込	しゅん工	
					番 号	各 戸 計 量 有・無								
取 出 有 り	φ × mm	係 員	道 路	区 分	分 岐 地 点	分岐止地点	そ の 他	係 員	しゅん工受付	係 員	しゅん工検査	課 長	係 長	係 員
	φ × mm			国 道										
	φ × mm			県 道 ・ 市 道										
	m			私道・その他										

※1 法人の場合は、記名押印してください。法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。
※2 主任技術者本人が自署しない場合は、記名押印してください。

令和 年 月 日

給水装置工事に関する利害関係人同意書

承 諾 者 住 所

氏 名

印

私は、下記申込者が給水装置工事により、

- ☐ 私所有の土地を使用することを承諾します。

所在地 _____

- ☐ 私所有の専用栓・共用管から分岐することを承諾します。

※ 専用栓の場合は共用管を、共用管の場合は専用栓を実線で消す。

- ☐ 申込者のメーター口径を変更することを承諾します。

※ 変更内容 メーター口径を _____mmから _____mmに変更。

承諾者所有の

水 道 番 号 _____

共用管番号 _____

申 込 者 住 所

氏 名

印

給水装置工事設計図（略図）

審 査	照 合

装 場 置 所		指 定 事 業 者		主 任 技 術 者 番 号		氏 名	

第 号
令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所
(給水装置所有者)

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

指 定 事 業 者 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

給水装置工事承認申込書取消届

下記により給水装置工事申込書を取り消したいのでお届けします。

1. 給 水 装 置 場 所 仙台市 区
2. 給水種別及び水道番号 専・共・共用管 第 号
3. 工 事 申 込 年 月 日 令和 年 月 日
4. 工 事 申 込 収 受 番 号 第 号
5. 工 事 内 容 新設・改造・装廃
6. 取 消 理 由

受付者	しゅん工検査手数料	金 額	水道加入金	金 額
		※還付 ☐ 有 ☐ 無		※還付 ☐ 有 ☐ 無

取扱者	処 理 欄

注 分岐状況の確認が必要

課 長	係 長	係 員

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所
（給水装置所有者）

氏 名
※法人の場合は，記名押印してください。
法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

指 定 事 業 者 住 所

氏 名
※法人の場合は，記名押印してください。
法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

給水装置工事承認申込書設計変更届

下記のとおり設計を変更したいので手数料を添えてお届けします。

1. 給 水 装 置 場 所 仙台市 区
2. 給水種別及び水道番号 専・共・消・共用管 第 号
3. 工事申込年月日 令和 年 月 日
4. 工事申込収受番号 第 号
5. 変 更 内 容

受 付 者	設 計 審 査 手 数 料		し ゅ ん 工 検 査 手 数 料	
	☐ 2 階以下で 25mm 未満 工事用水 2,100 円	☐ 3 階以上又は 25mm 以上 3,500 円	☐ 現地(2 階以下 25mm 未満・装廃含む) 3,500 円	☐ 現地(3 階以上又は 25mm 以上又は受水槽) 4,500 円
	☐ 受水槽の新設又は改造 20,000 円	☐ 給水装置の廃止工事 1,000 円	☐ 写真検査 1,000 円	☐ 書類検査 500 円

□設計審査手数料		水道 加入 金	金 額	収 納 印	取 扱 者	処 理 欄
金 額						
□しゅん工検査手数料						
金 額						
※還付 □有 □無			※還付 □有 □無			

○注意 設計変更図の添付を要する。

様式－6号

給 水 装 置 場 所				水 道 番 号		申 込 収 受 番 号	

指 定 工 事 業 者				給 水 装 置 工 事 竣 工 図			
				水 道 番 号			
				専 用 栓			
申 請 日		令和 年 月 日		記 事			
検査合格日		令和 年 月 日					
取 出 口 径		m/m					

水圧試験報告		(1) 管 種 試験圧力 MPa 上記試験の結果異常ないことを報告いたします。 試験 年 月 日 主任技術者番号 氏名				口 径 m/m 加圧時間 分 延長 m		確 認 者	
道 路 分 使 用 材 料 表		新戸番図 旧戸番図				公 社 受 付			
品 目		寸 法		単 位		数 量		N ↑	

様式－6号(裏面)

平 面 図

立 面 図

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所
(給水装置所有者)

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

受 任 者 住 所
(指 定 事 業 者)

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

短 期 給 水 新 設 願

下記の使用条件を遵守しますので、短期給水の 신설をお願いします。

記

1. 給水装置場所 仙台市 区
2. メーター口径 ϕ
3. 使 用 目 的
4. 給 水 期 間 使用開始の日から 6 カ月以内
(給水装置廃止工事の検査合格日を含む)
5. 使 用 条 件 (1) 給水期間が使用開始の日から起算して 6 カ月を越えた場合は、
既納水道加入金の還付請求はいたしません。
(2) 給水装置の譲渡・転貸及び使用者の変更等はいたしません。

水道局記入欄

No.	申 込 年 月 日	収 受 番 号	使 用 開 始 年 月 日
		第 号	

注 1 短期給水新設願の提出にあたり、事前に写しを保管しておくこと。

注 2 短期給水の装廃工事申込み時は、短期給水新設願の写しを添付すること。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

委任者住所
(給水装置所有者) 氏名

※法人の場合は，記名押印してください。

法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

住所
指定事業者 指定事業者名
代表者氏名

※法人の場合は，記名押印してください。

法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

主任技術者交付番号 No
氏名

※主任技術者本人が自署しない場合は，記名押印してください。

給水装置工事工期延期届

- 給水装置場所 仙台市 区
- 申込者
- 工事申込収受番号 第 号
- 工事申込年月日 令和 年 月 日
- 工事しゅん工年月日 令和 年 月 日
- 工期延期理由

7. 工期延期期限 令和 年 月 日

給水管埋設工事写真集

第 号

1. 装置場所

2. 施工月日 令和 年 月 日

3. 指定事業者

4. 電話番号

5. 添付写真

- ア 工事着手前
- イ 舗装切断工
- ウ 開削状況、分岐配管状況又は分岐止状況
- エ 砂埋戻しの転圧状況
- オ 再生砕石埋戻しの転圧状況（20cm以下）
- カ 仮復旧転圧完了状況
- キ 仮復旧完了及び水道マーク（○青色）標示完了状況
- ク 道路舗装厚「現状」の写真を寸法入りで撮影する
- ケ その他、必要と認められる写真

6. 注意事項

- ア L型側溝 は取外しの上配管する。
- イ U字側溝 は道路管理者から取外し条件がある場合のみ、取外しの上配管する。
- ウ 写真撮影 上記のL型及びU型側溝の工程写真は、着工前・側溝取外し・コンクリート打ち・完了全景状況を撮影する。
 - ◆ L型、U型側溝を押し込み工法で施工する場合は、押し込み工法箇所を確実に撮影する。
 - ◆ 各工程毎深度スケール及び黒板を用い、装置場所・申込者・指定工事事業者・申込收受番号を明記し、被写体の中に入れて撮影する。
 - ◆ 工事施工5日後に提出する 提出期限 月 日

仙台市水道局

新設栓使用開始申込書

水道番号		収受番号	
装置場所	区	指定事業者コード	
方書		メーター口径	mm
所有者住所		メーター製造年	
氏名		メーター番号	
届出人	7. 指定給水装置工事事業者 9. その他	取付指針	m ³
	会社名	止水栓 開・閉	開 ・ 閉
	電話	水抜栓 開・閉	開 ・ 閉
届出方法	3. 窓口 9. その他		
開始事由	1. 入居 2. 入居除く 4. 工事 9. その他（ ）		
開始月日	令和 年 月 日	開始入力	
新使用者	フリガナ 氏 名	メーター入力	
	自宅電話 連絡先	メーター交付	
支払者	住所	水道番号交付	
	方書		
	フリガナ 氏 名		
	電話		

水道メーター設置場所報告書

水道番号														
装置場所	仙台市 区													
所有者名			指定事業者											
メーター設置位置番 N ↑ <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33.33%;">7</td> <td style="width: 33.33%;">6</td> <td style="width: 33.33%;">5</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>家屋 10</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1 2</td> <td>3</td> </tr> </table>					7	6	5	8	家屋 10	4	9	1 2	3	受 付 印
7	6	5												
8	家屋 10	4												
9	1 2	3												
N ↑ 現地案内図（隣接地の水道番号記入）														

令和 年 月 日

(あて先) 仙台市水道事業管理者

所 有 者 住 所 _____

氏 名 _____

指定事業者 _____

主任技術者 _____

電 話 _____

新設アパート・中高層建築物水道メーター設置確認届

給水装置工事施行要領に基づき、給水装置に係る水道番号に対応する水道メーターの設置について、通水テストを行った結果、次の通り相違ないことを確認したので届けます。

1. 給水装置場所 _____

2. 建 物 名 称 _____

3. 棟室番号・水道番号・メーター番号（別添しゅん工図のとおり）

4. メーター交付年月日 令和 年 月 日

5. 管理人名（不動産業者等連絡先の記入）

住 所	仙台市 区		
氏 名			
電 話		F A X	

※水道局確認（令和 年 月 日，管理担当者： ，確認者： ）

6. 建物入口オートロックの有無 有・無 ※有の場合入館方法の連絡先を下記に記入

住 所	仙台市 区		
氏 名			
電 話		F A X	

注意

1. 管理人名は、必ず記入すること。
※水道局から建物名称・棟室番号等の確認のため、後日連絡します。
2. 所有者名義の変更がある場合は、給水装置所有者変更届の提出を促すこと。
3. 本書は、水道メーター設置後３日以内に建物名称・棟室番号・使用人名等を記入した、しゅん工図(写)を添付し、給水装置課へ提出すること。また、本書類提出後に建物名称等を変更した場合には、速やかに給水装置課へ届け出ること。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

共 用 管 所 有 者

住 所 _____

氏 名 _____

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

電 話 _____

共 用 管 寄 付 申 出 書

次のとおり、私所有の共用管を寄付いたしたいので受納して下さい。

1. 寄付する共用管

(1) 所 在 地 仙台市 _____ 区 _____

(2) 土地使用区分 公有地 ・ 私有地

(3) 共用管番号 _____

(4) 管種・口径・延長 _____ ϕ _____ mm ・ _____ m

(5) そ の 他 _____

2. 寄 付 の 理 由

3. 条 件

土地所有区分が私有地の場合、本水道施設から給水装置の新設・改造・修繕工事に伴う掘削および占用の土地使用も承諾します。

添付書類

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| (1) 共用管寄付申出に伴う土地使用承諾書（様式－１４号） | （私有地の場合） |
| (2) 委任状（様式－１５号） | （土地所有者が複数の場合） |
| (3) 公図，登記事項証明書（全部事項証明書） | （いずれも写し可） |
| (4) 共用管しゅん工図 | |
| (5) その他局が指示するもの | |

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

土地所有者（代表者）

住 所 _____

氏 名 _____

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

電 話 _____

共用管寄付申出に伴う土地使用承諾書

私は、私所有の土地を下記により使用することを承諾します。

記

- 市上水道管の埋設ならびに各戸に給水管を取出すこと。
- 土地の表示 仙台市 _____ 区
- 使用期間は寄付採納受入日、または市上水道管の埋設日から施設の存続する期間とすること。
- 使用料は無償とすること。
- 寄付受入後の水道管埋設工事の際は、市の基準に準じた埋戻しと舗装の原形復旧を行うこととし、工事完成後の舗装の維持管理については、水道管埋設工事の施工不良に起因するものを除き、土地所有者が行うこと。
- 本承諾書をもって、本水道施設並びに本水道管から給水装置の新設・改造・修繕工事に伴う掘削および占用の承諾書に換えるものとする。
- 将来この土地の所有権を第三者に移転する場合は、上記事項を継承すること。
-

◎ 添付書類

- ・委任状（様式－１５号）_____（土地所有者が複数の場合）
- ・公函，登記事項証明書（全部事項証明書）_____（いずれも写し可）
- ・その他局が指示するもの

仙台市水道事業管理者 様

委 任 状

私は、_____を代表者として、共用管寄付申出に伴う
土地使用承諾書提出の一切の件を委任します。

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

土 地 の 表 示	住 所	氏 名

課 長		係 長		係 員	
令和 年 月 日・第 号					

給 水 装 置 所 有 者 変 更 届

下記のとおり、給水装置の権利義務を継承したので届けます。

令和 年 月 日

(あて先)

仙台市水道事業管理者 様

新所有者 住 所

(届出人) (フリガナ)

氏 名

電 話 — —

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

給水装置場所	仙台市 区 住居表示でお書きください		
継 承 事 由	【不動産】 ☐ 売買 ☐ 相続 ☐ 贈与 ☐ 譲渡 ☐ その他（ ）		
添 付 書 類 ※	☐ 土地または家屋の登記事項証明書 ☐ 法人の登記事項証明書 等 ☐ 戸籍謄本（旧所有者との関係） ☐ その他 ☐ 売買契約書		
	※新所有者が所有権を取得したことを証する書類を添付してください。		
書類を添付しない場合は、旧所有者の署名が必要となります。			
旧 所 有 者	住 所 (フリガナ) 氏 名 電 話 — —		

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

□水道番号				
□共用栓番号				
□共用管番号				
手続きにお出 でになった方、 又はされる方	住 所 (フリガナ) 氏 名 電 話 — —			
注 １．本届書に係る権利関係については、後日利害関係人等から異議の申し出があっても、水道局はその責任を負いません。 ２．新所有者が市外に居住している場合には、市内に居住するものを代理人として別紙により届出願います。				
局 記 入 欄				

課 長		係 長		係 員	
令和 年 月 日 ・ 第 号					

代理人（選定・変更・取消）届

下記のとおり，代理人を（選定・変更・取消）したので届けます。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

所 有 者 住 所

（届出人）

（フリカゝナ）

氏 名

電 話

—

—

※法人の場合は，記名押印してください。

法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

給水装置場所	仙台市 区			
代 理 人	住 所 （フリカゝナ） 氏 名 電 話 — — ※法人の場合は，記名押印してください。 法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。			
□水道番号	_____	_____	_____	_____
□共用栓番号	_____	_____	_____	_____
□共用管番号	_____	_____	_____	_____

手続きにお出 でになった方， 又はされる方	住 所 （フリカゝナ） 氏 名 電 話 — —
-----------------------------	--

課 長		係 長		係 員	
令和 年 月 日・第 号					

住所変更（所有者・代理人）届

下記のとおり、住所（所有者・代理人）を変更したので届けます。	
令和 年 月 日	
仙台市水道事業管理者 様	
所 有 者 (届出人)	住 所 (フリガナ) 氏 名 電 話 — —
※法人の場合は、記名押印してください。 法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。	

給水装置場所	仙台市 区			
新 住 所				
旧 住 所				
変 更 理 由				
☐ 水道番号 ☐ 共用栓番号 ☐ 共用管番号	_____	_____	_____	_____
	_____	_____	_____	_____
	_____	_____	_____	_____
	_____	_____	_____	_____

手続きにお出 でになった方, 又はされる方	住 所
	(フリガナ)
	氏 名
	電 話 — —

令和 年 月 日

開発行為等による「舗装先行取出し工事」の承認願

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

施 工 者 （指定事業者）

住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者 氏 名

※主任技術者本人が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者番号 第 号

下記のとおり、舗装先行取出し工事を施工したいので承認願います。

仙台市道の掘削を伴う際は、道路復旧間接費について仙台市水道事業給水条例施行規程第 22 条の 2 による遅延損害金の規定に合意します。

記

1. 装置場所 仙台市 区 地内
2. 取出し区画の地番
3. 被分岐管工事番号 [受配・開配・給水工事 第 号]
4. 先行取出し理由 開発行為に伴う道路新設 ・ 既存道路の取出し同時施工
その他（ ）
5. しゅん工予定日 令和 年 月 日

課 長	係 長	係 員	申 請 受 付	しゅん工受付	記 事
起案	令和 年 月 日				
決裁	令和 年 月 日				
公印承認					受取確認

令和 年 月 日

開発行為等による「舗装先行取出し工事」の承認願

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所
氏 名※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。
（指定事業者）施 工 者 住 所
氏 名※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者 氏 名

※主任技術者本人が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者番号 第 号

下記のとおり、舗装先行取出し工事を施工したいので承認願います。

仙台市道の掘削を伴う際は、道路復旧間接費について仙台市水道事業給水条例施行規程第 22 条の 2 による遅延損害金の規定に合意します。

記

1. 装置場所 仙台市 区 地内
2. 取出し区画の地番
3. 被分岐管工事番号 [受配・開配・給水工事 第 号]
4. 先行取出し理由 開発行為に伴う道路新設 ・ 既存道路の取出し同時施工
その他 ()
5. しゅん工予定日 令和 年 月 日

開発行為等による「舗装先行取出し工事」の承認願

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

施 工 者 （指定事業者）

住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者 氏 名

※主任技術者本人が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者番号 第 号

下記のとおり、舗装先行取出し工事を施工したいので承認願います。

仙台市道の掘削を伴う際は、道路復旧間接費について仙台市水道事業給水条例施行規程第 22 条の 2 による遅延損害金の規定に合意します。

記

- | | | | |
|-------------|--------------------------------------|---|-----|
| 1. 装置場所 | 仙台市 | 区 | 地内 |
| 2. 取出し区画の地番 | | | |
| 3. 被分岐管工事番号 | [受配・開配・給水工事 第 号] | | |
| 4. 先行取出し理由 | 開発行為に伴う道路新設 ・ 既存道路の取出し同時施工
その他（ ） | | |
| 5. しゅん工予定日 | 令和 | 年 | 月 日 |

この承認願に記載された土地の先行取出し工事を承認する。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者

印

◎ 承 認 要 件

- ① 施工した取出し管が給水装置として使用開始されるまでの間に、折損・漏水及び出水不良等の問題が生じた場合には、申請者又は土地所有者がその修繕等に要する費用を負担しなければならない。
- ② 工事しゅん工後は、速やかにしゅん工図及び工事写真を提出すること。また、先行取出し工事明細表（様式－２０号）についても承認願提出時とは別に、しゅん工時にも提出すること。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所

(所有者) 氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

機 能 水 器 具 設 置 申 請 書

水道番号 第 号

設置場所 仙台市 区

型 式 名

浄水器・活水器等（常時水圧がかかるもの。）を設置するにあたり下記の条件を承諾のうえ申請します。

記

1. 水質責任について

水道局の水質責任範囲は、浄・活水器等の設置箇所の上流側までとし、下流側は申請者（所有者）の責任で管理します。

2. 維持管理について

給水条例第 1 7 条「給水装置の管理」の規定に基づき、浄・活水器等の仕様に応じ適正に管理します。

3. 利害関係人への周知

集合住宅等で申請者（所有者）以外の使用者がいる場合は、浄・活水器等の使用状況及び管理責任等について説明し承諾を得ておきます。

また、所有者に変更が生じた場合は、責任を持って引継ぎを行います。

4. その他

浄・活水器等に起因した問題が生じた場合は、申請者の責任で解決します。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所
(所有者) 氏 名

機 能 水 器 具 設 置 報 告 書

このことについて、下記のとおり機能水器具を設置しましたので報告します。

記

１．設置場所 仙台市 区

２．所 有 者

３．水道番号 第 号

４．メーカー名

５．型 式

６．認証品証明書写し 別添

No. _____

仙台市鉛製給水管解消工事費助成金交付申請書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者

申請者 住 所

フリガナ

氏 名

⑩

電話番号

仙台市鉛給水管解消工事費助成制度要綱第 7 条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 装 置 場 所 _____

2. 給水種別及び水道番号 ☐専用栓 ☐私共用管 第 _____ 号

3. 指 定 事 業 者 名 _____

4. 工 事 種 別 ☐改造工事 ☐新設工事

☐その他 ()

5. 工 事 費 用 見 積 額 _____ 円 (税 抜 ・ 税 込)

*添付書類

- ・施行前現況写真（道路部，官民境界部，既設メーターボックス付近）
- ・工事費用見積書（写し）

<助成申請者の要件>

- ・仙台市鉛給水管解消工事費助成制度要綱第 5 条の規定を満たすこと。

■市税納付状況確認について

私（法人〔団体〕含む）の仙台市市税納入状況（税目・税額・申告の有無等）を
仙台市水道局給水部給水装置課が仙台市税務担当課に照会することに

同意します

同意しません

※ 該当するものを○で囲んでください。同意する場合は、納付状況の確認に際し、申請者を特定するために必要な
下記の情報について記入をお願いします。

個人の場合

・生年月日（ 年 月 日）

※個人事業主の方は次の 2 点についても記入をお願いします。

・事業所所在地

（申請者と同一の場合は記入不要） _____

・事業所名称・屋号 _____

法人格を有する場合

・本店や主たる事務所の所在地

（申請者と同一の場合は記入不要） _____

・本店や主たる事務所の名 称

（申請者と同一の場合は記入不要） _____

・法 人 番 号 （13 桁） _____

※同意されない場合には、市税の課税の有無にかかわらず、最寄りの区役所・総合支所税証明担当課において
交付される「市税の滞納がないことの証明書」（申請日前30日以内に交付を受けたものに限ります。）を添付
して申請してください（1 通300円の手数料が必要です。）。

【「市税の滞納がないことの証明書」の交付にあたって】

市税を10日以内に納付した場合は、納付状況を確認できない場合があるため、「市税の滞納がないこと
の証明書」の交付を受ける際に、領収書や通帳等納付した事実がわかる書類をお持ちください（法人市民
税・事業所税の場合は申告書の控えもお持ちください。）。

給水装置工事資金融資あっせん申請書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 請 者 住 所

フリガナ

氏 名

㊞

電話番号

—

連帯保証人 1 住 所

フリガナ

氏 名

㊞

電話番号

—

連帯保証人 2 住 所

フリガナ

氏 名

㊞

電話番号

—

給水装置工事に係る資金融資あっせん制度要綱に基づき下記のとおり申請します。

記

1. 工 事 種 別 自 家 貸 家 借 家
2. 給 水 装 置 場 所 仙 台 市 区
3. 指定給水装置工事事業者
4. 工事費（見積書写添付）
5. あっせん希望額
6. あっせん希望金融機関名

※ 添付書類 申 請 者 : 印鑑証明書 一通

連帯保証人 : 印鑑証明書 一通

※ 資金融資あっせん要件 : 「給水装置工事に係る資金融資あっせん制度要綱」第 3 条
及び第 4 条に基づく。

■市税納付状況確認

〔給水装置工事資金の融資あっせんを受けるためには、「市税を滞納していないこと」という要件があるため下記の手続が必要です〕

申請者

私の仙台市市税納付状況（税目・税額・申告の有無等）を仙台市水道事業管理者が仙台市税務担当課に照会することに

同意します

同意しません

※ 該当するものを○で囲んでください。同意する場合は、納付状況の確認に際し、申請者を特定するために必要な情報となる「生年月日」の記入をお願いします。

・生年月日（ 年 月 日）

連帯保証人 1

私（法人〈団体〉含む）の仙台市市税納付状況（税目・税額・申告の有無等）を仙台市水道事業管理者が仙台市税務担当課に照会することに

同意します

同意しません

※ 該当するものを○で囲んでください。同意する場合は、納付状況の確認に際し、申請者を特定するために必要な下記の情報について記入をお願いします。

○個人の場合 ・生年月日（ 年 月 日）

※ 個人事業主の方は次の2点についても記入をお願いします。

・事業所所在地

・事業所名称・屋号

○法人格を有する場合

・本店や主たる事務所の所在地

・本店や主たる事務所の名称

・法人番号（13桁）

連帯保証人 2

私（法人〈団体〉含む）の仙台市市税納付状況（税目・税額・申告の有無等）を仙台市水道事業管理者が仙台市税務担当課に照会することに

同意します

同意しません

※ 該当するものを○で囲んでください。同意する場合は、納付状況の確認に際し、申請者を特定するために必要な下記の情報について記入をお願いします。

○個人の場合 ・生年月日（ 年 月 日）

※ 個人事業主の方は次の2点についても記入をお願いします。

・事業所所在地

・事業所名称・屋号

○法人格を有する場合

・本店や主たる事務所の所在地

・本店や主たる事務所の名称

・法人番号（13桁）

※同意されない場合には、市税の課税の有無にかかわらず、最寄りの区役所・総合支所税証明担当課において交付される「市税の滞納がないことの証明書」（申請日前30日以内に交付を受けたものに限りです。）を添付して申請してください（1通300円の手数料が必要です。）。

【「市税の滞納がないことの証明書」の交付にあたって】

市税を10日以内に納付した場合は、納付状況を確認できない場合があるため、「市税の滞納がないことの証明書」の交付を受ける際に、領収書や通帳等納付した事実がわかる書類をお持ちください（法人市民税・事業所税の場合は申告書の控えもお持ちください。）。

鉛製給水管布設替工事同意書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

給水装置所有者（申込者）

住 所

氏 名

※法人の場合は，記名押印してください。
法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

指定事業者（工事施行者）

住 所

氏 名

※法人の場合は，記名押印してください。
法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

私は下記の給水装置工事に伴い，水道局施工の鉛製給水管布設替工事について同意いたします。

記

- 1 給水装置場所
- 2 水道番号
- 3 収受番号
- 4 取出し新管種・口径
- 5 布設替工事費用
- 6 同意の条件
- 第 号
- (既設) ・ φ (新設) ・ φ
- 本工事に係る費用は水道局の負担とする。
ただし，しゅん工検査前にメーター口径の増径を伴う等，局布設替工事
対象外となる工事内容に変更した場合の工事費用は申込者の負担とする。

課 長	係 長	担当者

対図番号

令和 年 月 日

年度

舗装本復旧工事計画書（ 区）

仙台市水道事業管理者 様

指定事業者

電 話

主任技術者

1. 給水装置工事承認申込書

収受番号	年度 第 号
装置場所	仙台市 区
申請者名	
道路区分	路線名 区 号（路線番号）

2. 舗装施工日程

分岐・分岐止め施工日	令和 年 月 日
舗装本復旧予定日	令和 年 月 日

3. 道路占用・使用許可内容

占用許可期間(道路)	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
使用許可期間(警察)	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
(使用許可期間延長)	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

4. 舗装本復旧計画図 別紙のとおり

施工完了後5日以内に提出のこと

舗装本復旧計画（完了）図

収 受 番 号		舗 装 種 別	車道	D・C・B・A・L・簡・()	
現況舗装厚	c m		歩道	As・平板	一般・乗入 種
平 面 図（記入例裏面） 区 画 線 有・無					
舗装断面構成図					

- （注） ① 道路幅員に対する掘削位置及び掘削部寸法並びに影響部寸法を記入する。
 ② 既設の舗装絶縁線がある場合は，その位置（施工箇所からの離隔等）を記入する。
 ※ 写しを取っておいてください。

令和 年 月 日

対図番号

--

令和 年度

舖裝本復旧工事完了届 (区)

仙台市水道事業管理者 様

指定事業者

電話

主任技術者

- | | | |
|--------------|-----------------|---------------------|
| 1. 舗装場所 | <u>仙台市</u> | <u>区</u> |
| 2. 道路区分 | <u>路線名</u> | <u>区 号</u> (路線番号記入) |
| 3. 舗装本復旧施工業者 | <u></u> | |
| 他施工者による復旧 | | |
| ・ガス復旧 | ・下水道復旧 | ・その他 () |
| ・水道局復旧 (課) | ・区役所復旧 (課) | |
| 4. 舗装復旧施工月日 | <u>令和 年 月 日</u> | |
| 5. 添付写真 | | |
| ・着工前後 | (1) 工事着工前 | |
| | (2) 工事完了後 | |
| ・舗装切断工 | (3) 切断 | |
| ・路盤工 | (4) 路盤整正 | |
| ・舗装工(各層毎) | (5) 舗装厚測定 | |
| | (6) 乳剤散布 | |
| | (7) 舗設 | |
| | (8) 転圧状況 | |
| ・保安設備 | (9) 保安状況等 | |

注意事項

- 注1 竣工写真は、1部提出してください。なお写真整理は、施工工程の流れに沿って整理する。
- 注2 着手前及び完了後の写真は、角度を変えて2～3枚添付する。
- 注3 写真は、作業内容・施工寸法（範囲・厚さ）等が確認できるよう撮影する。
- 注4 工事写真の不備により、再施工となる場合がありますので十分注意する。
- 注5 舗装本復旧が完了し、完了届が提出されない場合「給水装置工事」のしゅん工は受付ができない。

施工完了後 5 日以内に提出のこと

給水装置工事社内検査結果報告書

仙台市水道事業管理者 様

工事申込収受番号 第 号

工事内容 新設 ・ 改造 ・ 装廃

検査種別及び検査項目			検査結果	
屋外の検査	・分岐部のオフセット			
	・水道メーター位置・メーター用止水栓 ・逆止弁の取付け状況			
	・埋設深さ			
	・管延長（管種及びm数）			
	・きょう・ます類の設置状況			
	・止水栓の設置状況			
配 管	・しゅん工図面と配管状況の整合			
	・分岐・分岐止め			
	・管種（性能基準適合品の使用確認）			
	・接合状況			
	・保温・保護・埋め戻し状況			
給 水 用 具	・給水用具 （性能基準適合品の使用確認）			
	・接続状況			
耐 圧	・水压試験		MP a 分間	
機 能	・逆止弁，水抜き栓等の作動状態			
水 質	・残留塩素の測定		m g / l	
	・臭気，味，色，濁り（観察等により異常でないこと）			
表 示	・水道番号，工事事業者ステッカー			
路面復旧状況	仮復旧年月日	年 月 日	本復旧年月日	年 月 日

上記のとおり社内検査したことを報告いたします。

令和 年 月 日

指定番号 第 号 指定事業者

主任技術者 氏 名

中高層建築物直結給水装置工事社内検査結果報告書

仙台市水道事業管理者 様

工事申込収受番号 第 _____ 号

給 水 方 式 直圧式・増圧式・直圧式受水槽式併用・増圧式受水槽式併用

工 事 内 容 新設 ・ 改造 ※地付メーター除く

検 査 種 別 及 び 検 査 項 目		検 査 結 果
水 圧 試 験	1. ポンプ1次側の加圧確認	M P a 分以上
	2. ポンプ2次側の加圧確認	M P a 分以上
	「増圧設備」の水圧試験は除外する。	
増 圧 設 備	1. 増圧設備の設置及び作動確認	
	2. 警報装置の作動確認	
	3. 緊急連絡先等の標示板設置確認	
	4. 自動停止・自動復帰の作動確認	
	5. 減圧式逆流防止器の作動確認・吐水口空間・ストレーナーの設置状況確認	
直 圧 ・ 増 圧 設 備 設 置 環 境 他	1. 給水主管の立上り管最上部の空気弁及び止水器具の設置状況確認	
	2. メーター室（パイプシャフト内）の止水栓・メーター・逆止弁・保温工・施錠状況・共用電源等の施工状況確認	
	3. 給水主管の立上り管の仕切り弁設置状況確認	
	4. 非常用水栓（キー付不凍水栓）の設置状況確認	
	5. 直結・受水槽方式の識別状況（標示板・テープ）確認	

上記のとおり社内検査したことを報告いたします。

令和 年 月 日

指定番号 第 _____ 号 指定事業者

主任技術者 _____ 氏 名

受水槽式給水装置工事社内検査結果報告書

仙台市水道事業管理者 様

工事申込収受番号 第 _____ 号

工事内容 新設 ・ 改造

検査種別及び検査項目		検査結果
受水槽内部	・ 吐水口空間の確認	cm
	・ ボールタップ上流側の逆止弁設置確認 (メーター口径 20 mm時)	
	・ 流入管と出水管の離れ確認	
	・ 流入管の設置状況確認	
	・ オーバーフロー管の配管状況確認	
受水槽外部	・ 非常用水栓（キー付不凍水栓）の 設置状況確認	
	・ 立上り管のバルブ及び防振継手の 配管状況確認	
	・ 定水弁又はバキュームブレーカーの 設置状況確認	
	・ オーバーフロー管及び水抜管の 排水口空間の確認	オーバーフロー管 cm 水抜管 cm
	・ オーバーフロー管及び通気管の 防虫網の設置状況確認	
	・ 受水槽廻りの点検スペースの状況確認	

上記のとおり社内検査したことを報告いたします。

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

指定番号 第 _____ 号 指定事業者

主任技術者 _____ 氏 名

課 長		係 長		係 員	
令和	年	月	日	受付番号	第 号

給水装置工事再検査申込書

工事申込収受番号	第 号		
給水装置場所	仙台市 区		
委任者 (給水装置所有者)			
工事内容	新設・改造・装廃		
前回検査での指摘事項	水圧試験不良・配管不良・深度不良・準備不足・未認証品の使用 その他（ ）		
前回の検査日	令和 年 月 日	検査員	

上記について、関係図面を添えて申込みます。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者様

指定番号 第 号 指定事業者

主任技術者 氏名

課 長		係 長		係 員	
令和 年 月 日 受付番号 第 号					

給水装置工事中間検査申込書

工事申込收受番号	第 号		
給水装置場所	仙台市 区		
委任者 (給水装置所有者)			
検査内容	道路許可 ・ 舗装先行 ・ 分岐箇所 ・ 分岐止箇所 給水管 () ・ その他 ()		
検査希望日	令和 年 月 日	検査員	

上記について、関係図面を添えて申込みます。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

指定番号 第 号 指定事業者

主任技術者 氏名

令和 年 月 日

申込者（給水装置所有者）

氏名 _____ 様

給水装置工事しゅん工検査合格証明書

収 受 番 号	
水 道 番 号	
給 水 装 置 工 事 場 所	
指 定 事 業 者	

しゅん工検査合格年月日	
検 査 担 当 部 署	(公財)仙台市水道サービス公社 設備審査課 設備検査係 〒982-0015 仙台市太白区南大野田 29-1 仙台市水道局 1階 電話 022-304-0163

上記、給水装置工事について、しゅん工検査に合格したことを証明いたします。

仙台市水道事業管理者

住宅用スプリンクラー設備設置条件承諾書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住所
(給水装置所有者)
氏名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

給水装置場所 仙台市 区
水道番号 第 号
消防設備士名
指定事業者名

水道法の適用を受ける住宅用スプリンクラー設備を設置するにあたり、下記条件を承諾いたします。

記

1. 当該スプリンクラー設備は消防設備士が設計し、その指導の下に指定事業者が施工いたします。
2. 配水管の断水（災害その他正当な理由による制限給水、水道管破損事故及び水道施設の工事等）又は水圧低下により、当該スプリンクラー設備の性能が十分発揮できない状況が生じても、仙台市水道局は一切責任を負わないこと。
3. 当該スプリンクラー設備の火災時以外における作動及び火災時の水道事業にその責を求めることのできない非作動に係る影響は、仙台市水道局は一切責任を負わないこと。
4. 当該スプリンクラー設備が設置された家屋、部屋を賃貸する場合には、当該設備は上記条件付きであることを賃借人に熟知させます。
5. 当該設備の所有者を変更するときは、上記事項について譲受人に熟知させます。
6. 当該スプリンクラー設備を介して連結している給水栓等からの通水状態に異常があった場合は仙台市指定給水装置工事事業者に連絡するとともに、当方にて処置いたします。
7. 水道直結式スプリンクラー設備の維持管理上の必要事項及び連絡先を見やすいところに表示し、関係者に周知いたします。

特定施設水道直結式スプリンクラー設備設置条件承諾書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住所
(給水装置所有者)
氏名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

給水装置場所 仙台市 区

水道番号 第 号

消防設備士名

指定事業者名

消防法令に定められる特定施設に水道法の適用を受ける水道直結式スプリンクラー設備を設置するにあたり、下記条件を承諾いたします。

記

1. 当該スプリンクラー設備は消防設備士が設計し、その指導の下に指定事業者が施工いたします。
2. 配水管の断水（災害その他正当な理由による制限給水、水道管破損事故及び水道施設の工事等）又は水圧低下により、当該スプリンクラー設備の性能が十分発揮できない状況が生じても、仙台市水道局は一切責任を負わないこと。
3. 当該スプリンクラー設備の火災時以外における作動及び火災時の水道事業にその責を求めることのできない非作動に係る影響は、仙台市水道局は一切責任を負わないこと。
4. 当該スプリンクラー設備が設置された家屋、部屋を賃貸する場合には、当該設備は上記条件付きであることを賃借人に熟知させます。
5. 当該設備の所有者を変更するときは、上記事項について譲受人に熟知させます。
6. 当該スプリンクラー設備を介して連結している給水栓等からの通水状態に異常があった場合は仙台市指定給水装置工事事業者に連絡するとともに、当方にて処置いたします。
7. 水道直結式スプリンクラー設備の維持管理上の必要事項及び連絡先を見やすいところに表示し、関係者に周知いたします。

令和 年 月 日

課 長	係 長	係 員

仙台市水道事業管理者 様

委 任 者 住 所
(給水装置所有者) 氏 名

住 所
指 定 事 業 者 指定事業者名
代表者氏名

給水装置工事主任技術者変更届

1. 給 水 装 置 場 所	仙台市 区	
2. 給水種別及び水道番号	専・共・消・共用管 第 号	
3. 工 事 申 込 年 月 日	令和 年 月 日	
4. 工 事 申 込 収 受 番 号	第 号	
5. 主 任 技 術 者 氏 名	新	旧 (変更前)
6. 主任技術者登録番号	No	No
7. 変 更 年 月 日		
8. 変 更 理 由		

令和 年 月 日

開発行為に伴う給水の申込書

仙台市水道事業管理者 様

給水申込者

住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

下記の開発行為について、事前協議内容に基づき、給水を申し込みます。

開発負担金については、仙台市水道事業給水条例第三十三条の三及び同施行規程第二十二條の二の規定に合意します。

なお、「給水装置工事」に係る具体的な協議、手続き等については、別途行います。

記

１．事前協議整理番号及び協議成立年月日

事前協議整理番号 第 ー 号

協議成立年月日 令和 年 月 日

２．開発区域に含まれる地域の名称

３．開発区域の面積

_____ m^2

４．予定建築物の用途

５．給水装置工事予定工期

着 手 令和 年 月 日

完 成 令和 年 月 日

６．添付図書

- （１）開発行為許可通知書（写し）
- （２）設計説明書（その１，その２）
- （３）工程表
- （４）その他

使用材料認証品確認書

仙台市水道事業管理者 様

収 受 番 号 第 _____ 号

給水装置場所 仙台市 _____ 区 _____

工 事 内 容 新 設 ・ 改 造 ・ 装 廃

使用材料	メーカー名	認証登録番号 又は形式	JIS・認証 機関名等	認証品 確認方法	呼 径	数 量	備 考

※ 認証品確認方法の記入について：次の該当番号を上記記入欄に記入してください。

①ラベル ②印 刷 ③刻 印 ④証明書 ⑤その他

上記使用材料について報告いたします。

令和 年 月 日

指 定 番 号 _____

指 定 事 業 者 名 _____

主 任 技 術 者 氏 名 _____

給水装置の更生工事施行に係る事前調査結果報告書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

提出者（指 定 事 業 者）

指定番号 第 _____ 号

住 所 _____

事業者名 _____

代 表 者 _____

※法人の場合は、記名押印してください。法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

電 話 _____

給水装置の更生工事を施行するにあたり、既設給水装置の事前調査を実施した結果、更生工事の施工が可能と判断しましたので、報告します。

なお、更生工事完成后、適切な施工が行われたことの確認並びに給水装置の構造及び材質の基準適合の試験を実施し、施工が不適切な場合又は試験結果が基準に適合しない場合には、直ちに適切な処置を施します。

調査日	令和 年 月 日
調査場所 (建築物の所在地)	仙台市 区
建築物の名称	

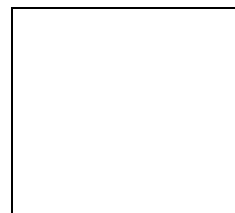
事前調査を実施した主任技術者

免状交付番号 第 _____ 号

氏 名 _____

※主任技術者本人が自署しない場合は、記名押印してください。

受 付



更生工事施行計画書

１．申請者等

申込者 (給水装置所有者)	住 所	
	氏 名	
指 定 事 業 者	指定番号	第 号
	住 所	
	事業者名	
管更生工事施工者	住 所	
	施工者名	

２．建物概要

工事場所	区		
建物名称			
階層・戸数	階建	戸	
量水器	口径	mm	個
	口径	mm	個

３．更生工事の工法

工法名	※審査証明番号 第 号		
クリーニング(研磨)方法	工法名称 (内容)		
ライニング施工方法	工法名称 (内容)		
	塗 料	名称	
		乾燥方法	
		乾燥時間	日間・時間 (温度 ℃)
		塗膜圧	mm 以上 ～ mm 以下
工期	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		
施工内容	仮設配管	☐ 有 ☐ 無	
		口径	mm 延長 m
		口径	mm 延長 m
	更生工事	口径	mm 延長 m
		口径	mm 延長 m
		口径	mm 延長 m
		口径	mm 延長 m

※審査証明番号は、建築技術審査証明協議会（財団法人建築保全センター）の「建築物等の保全技術審査証明」を受けている場合に記入して下さい。

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申込者住所

申込者氏名

水 道 加 入 金 後 納 取 扱 申 請 書

下記工事申込みに係る水道加入金の納入について、仙台市水道事業給水条例施行規程第２２条の２による遅延損害金の規定に合意し、水道加入金取扱要綱第４条に基づく後納の取扱いを申請いたします。

記

1. 給水装置場所 仙台市 区
2. 建築物名称
3. 工事施行者
(指定事業者)
4. 金 額
5. 納 入 期 限
6. 連 絡 先

【申請における注意事項】

◎ 納入通知書発行日から起算して１５日後 が納入期限となります。◎ 納入期限を過ぎても未納だった場合は、遅延損害金を請求することがあります。

協議等窓口記入欄

税抜金額	円
消費税額	円
請求金額	円

協議番号	新設等口径・件数	相殺口径・件数
—	×	×
	×	×
	×	×

申込受付 収受番号 第 号

災害危険区域内の給水装置廃止届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

給水装置所有者

住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

私は、災害危険区域内に所有する給水装置について下記事項を承諾のうえ廃止します。

記

1 廃止する給水装置

装 置 場 所

.....

水 道 番 号

第.....号

メーター口径

.....耗

2 新設・改造する給水装置

装 置 場 所

.....

3 提出にあたり給水装置所有者が確認・承諾する事項

- (1) 廃止する給水装置の所有者が新設・改造工事を行う場合、この「災害危険区域内の給水装置廃止届」を提出することにより、廃止するメーター口径に応じた水道加入金が免除されること。
- (2) 廃止した給水装置について、水道局の管理上必要な場合に切り離しや撤去を水道局が行うこと。
- (3) 上記（２）により、切り離しや撤去された取り出しについての再分岐等は水道局では行わないこと。
- (4) この「災害危険区域内の給水装置廃止届」の給水装置所有者と新設・改造工事の申請者が異なる場合は、給水装置所有者変更届が必要なこと。

課 長	係 長	担 当 者

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所
(所有者) 氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

給 水 用 具 設 置 承 諾 書

給 水 装 置 場 所 _____

給 水 用 具 _____

日本水道協会（JWWA）品質認証登録番号 _____

設 置 目 的 上記添付資料（カタログ）のとおり

指 定 事 業 者 名 _____

上記給水用具の設置にあたり下記事項を承諾します。

記

1. 設置する給水用具（流量計）は、仙台市水道事業給水条例第２１条に基づく仙台市が設置するメーターではないこと。
2. 水道メーター（水道局が請求する使用明細等）と設置する給水用具から得られる水量とに差異が生じても水道局に異議を申し立てないこと。
3. 水道局が計量法に基づいて行う水道メーターの取替えの対象ではないこと。
4. 当該給水装置の所有者を変更するときは、上記事項について責任を持って引き継ぎを行うこと。

課 長	係 長	担 当 者

委任解除届及び新委任届

令和 年 月 日
仙台市水道事業管理者 様

委 任 者 住 所
氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

下記給水装置場所に、令和 年 月 日付で給水装置工事の申請をしました
が、諸般の事情により当工事を受任した において当工事の
申請業務及び施工を継続することが困難となりました。このことにより、やむを得
ず民法第651条に基づき、 への給水装置工事及び給水装
置工事承認申込に関する委任を解除しますので届けます。

なお、当工事の今後の申請業務及び施工については、 に
その一切を委任します。

記

- 1 収 受 番 号 年度
- 2 給 水 装 置 場 所
- 3 旧 受 任 者 (指定番号)
住 所
氏 名
代表者名
T E L

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

- 4 新 受 任 者 (指定番号)
住 所
氏 名
代表者名
T E L

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者氏名
主任技術者免状
交 付 番 号

南・東・北・西 配水課長		維持係長	
-----------------	--	------	--

分岐・分岐止 工事実施状況報告書

年度(和暦)		収受番号		給水装置位置(住居表示等)				提出先維持係							
令和 年度				区				(選択式)							
申請者名 (申込者名)				分岐・分岐止 施工会社区分		☐ 自社施工 ☐ 宮管委託		分岐・分岐止 施工者氏名							
		施工年月日等				配水管管種・口径		給水管管種・口径							
分岐		令和	年	月	日 (曜日)	時	分	φ	×	φ					
分岐止		令和	年	月	日 (曜日)	時	分	φ	×	φ					
使用材料表 (量水器手前までの配管材料について全て記載すること)															
品名		形状寸法		認承番号		数量		品名		形状寸法		認承番号		数量	
(管) φ						m・本		止水栓		甲・乙・丙 φ				ヶ	
(管) φ						m・本		止水栓		甲・乙・丙 φ				ヶ	
(管) φ						ヶ		止水栓篭						ヶ	
(管) φ						ヶ		メーター用エルボ90°		φ				ヶ	
サドル付分水栓		φ × φ				ヶ		メーター用ベンド22° 1/2		φ				ヶ	
分水・止水栓用ソケット		φ				ヶ									
分水・止水栓用キャップ		φ				ヶ									
弁付割T字管		φ × φ				ヶ									
雄ネジ付ソケット		φ				ヶ									
フランジ板(接合材共)		φ				ヶ									
配水管等位置図															
自社施工で配水管管種がDIPの場合 必須確認項目		ポリエチレンスリーブ被覆の有無		☐ あり ☐ なし		内面ライニング種別		☐ エポキシ ☐ モルタル ☐ なし							
仙台市水道事業管理者 様															
当社にて施工した分岐(止)工事について、関係規程に則り適切に施工を行いましたので、規定の写真添えて報告します。															
令和 年 月 日 主任技術者氏名 (記入責任者) ※															
※工事申込書記載の主任技術者(又は当該主任技術者からの指示により立会いをする主任技術者)															
南・東・北・西 配水課長 様															
上記報告内容について相違ないことを確認しましたので、報告致します。															
令和 年 月 日															
南・東・北・西 配水課 維持係 氏名															
給水装置課長 様															
上記報告内容について、指定工事業者より報告書が提出されましたので、引継ぎします。															
令和 年 月 日															
南・東・北・西 配水課長															

仙台市水道事業管理者 様

申 込 者 住 所

(給水装置所有者) 氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

継続的給付を受けるための申込書

私名義の下記給水装置工事の施行にあたり、下記４記載の方法によって継続的給付を受けるため、民法第２１３条の２第３項に基づき「その目的、場所及び方法」を記載した通知を下記５記載の者に対して行いましたので、当該事項に関係する資料を添えて申込みます。また、本工事に伴う設備の設置・使用、掘削・通行等にあたっては、下記５記載の者に与える損害が最も少ない方法をとるものとし、民法やその他関係法令等を遵守し施行します。

万が一、下記工事において、下記５記載の者又はその他の者との間で紛争が生じた場合は、当事者間で解決するものとし、生じた紛争のため工事が中断する場合がありますことを受忍いたします。

記

- １．給 水 装 置 場 所 市 区
- ２．工事申込年月日 令和 年 月 日
- ３．工事申込収受番号 第 号
- ４．継続的給付を受ける方法 ① 他人の所有地に設備を設置 ・ ② 他人の所有する設備を使用
- ５．提 出 資 料 等

① 他人の所有地に設備を設置する場合

土地所有者情報（住所： 氏名： ）

- ・公図及び全部事項証明書（発行から３カ月以内のもの）（写し）
- ・土地所有者への通知書面及び通知書面が送達されたことを証する資料（写し）
- ・その他関係資料（写し）（ ）

② 他人の所有する設備を使用する場合

設備所有者情報（住所： 氏名： ）

- ・設備所有者への通知書面及び通知書面が送達されたことを証する資料（写し）
- ・その他関係資料（写し）（ ）

以下、水道局使用欄

次の通知等関係資料の提出を確認しました。

【他人の所有地に設備を設置する場合】 ☐ 公図・全部事項証明書（発行から３カ月以内のもの） ☐ 土地所有者への通知書面 ☐ 通知書面が送達されたことを証する資料 ☐ その他関係資料 （ ）	【他人の所有する設備を使用する場合】 ☐ 所有者情報の整合 ☐ 設備所有者への通知書面 ☐ 通知書面が送達されたことを証する資料 ☐ その他関係資料 （ ）	受付者 確認者
【特記事項】 		

登録店報告用

令和 年 月 日

給水装置修繕工事施工件数報告書

(あて先)
仙台市水道事業管理者

申請者 住所
名称
代表者
電話番号
指定番号 第 号

修繕工事の施工件数（ 月分）について、地元密着型水道修繕登録店取扱要綱第
１０条第２項の規定に基づき、次のとおり報告します。

修繕等工事施工件数

施 工 件 数	施工内容別内訳				
	器具取替工事	漏水修繕工事	そ の 他		
	蛇口（混合水栓）・ボ- ルタップ（トイレ）・給 湯器等の器具故障等に 伴う修理・取換件数	漏水に伴う修繕件 数（給水管の漏水修 繕・掘削を伴う漏水 修繕等）	給水設備等の修 繕（受水槽・ポ- ンプ・設備）	口径７５耗以 上の給水管の 漏水修繕	凍結管の解氷 対応
自社受付 （当月計） 計 件	自社受付 件	自社受付 件	自社受付 件	自社受付 件	自社受付 件
局紹介受付 （当月計） 計 件	局紹介受付 件	局紹介受付 件	局紹介受付 件	局紹介受付 件	局紹介受付 件

- ◎ 施工件数を集計する際の注意点
- ・ １給水装置に係る修繕工事を１件とする
 - ・ 器具破損の漏水に伴う器具取換は漏水修繕工事として集計する。
 - ・ １給水装置内で、器具取換工事と漏水修繕を行った場合は漏水修繕工事とする。
 - ・ その他の件数は器具取換及び漏水修繕には含めない。
- ◎ 本報告書を提出する際の注意点
- ・ 毎月２０日までに、前月分の施工件数を報告していただきますよう、ご協力をお願い致します。
- 例：４月分の施工件数の報告
- ４月１日～４月３０日に施工した件数を、５月２０日までに報告願います。
- なお、当該月の施工件数が０件の場合でも、ご面倒をおかけしますが、本報告書を提出願います。
- ・ 本報告書は、『ＦＡＸ』か『直接持ち込み』にて提出をお願いします。

提出先：給水装置課 (FAX 022-304-1056)

(地元密着型水道修繕登録店以外用)

令和 年 月 日

給水装置修繕工事施工件数報告書

(あて先)

仙台市水道事業管理者

(給水装置課取扱)

申 請 者 名 称
所 在 地
代 表 者
電 話 番 号
指 定 番 号 第 号

修繕工事の施工件数 (月分) について、仙台市水道事業給水条例第 12 条第 2 項の規定に基づき、次のとおり報告します。

修繕等工事施工件数

	施工内容別内訳				
	器具取替工事	漏水修繕工事	その他		
	蛇口 (混合水栓)・ボールタップ (トイレ)・給湯器等の器具故障等に伴う修理・取替件数	漏水に伴う修繕件数 (給水管の漏水修繕・掘削を伴う漏水修繕等)	給水設備等の修繕 (受水槽・ポンプ・設備)	口径 75 ㎜ 以上の給水管の漏水修繕	凍結管の解氷対応
施工件数					
計 件	件	件	件	件	件

※ 件数を集計する際の注意点

- ・ 1 給水装置に係る修繕工事を 1 件とする。
- ・ 器具破損の漏水に伴う器具交換は漏水修繕工事として集計する。
- ・ 1 給水装置内で、器具取替工事と漏水修繕を行った場合は漏水修繕工事とする。
- ・ その他の件数は器具取替及び漏水修繕には含めない。

給水装置課 FAX 022-304-1056 まで報告願います。

(地元密着型水道修繕登録店以外用)

中 高 層 建 築 物 関 係

様式番号	様 式 名	備 考
直 1	直結式給水についての協議書	
直 2	直結直圧式給水条件承諾書	
直 3	直結増圧式給水条件承諾書	
直 4	申請者変更届	
直 5	直結式給水についての協議の取消届	
直 6	設計水圧調査等申請書	直結・受水槽兼用
直 7	設計水圧調査等回答書	直結・受水槽兼用
直 8	給水方式変更条件確認書	裏面あり
—	既設配管の材料等確認書	様式は任意, 参考

給水工事申込日		事業者名		竣工日		水道番号	
---------	--	------	--	-----	--	------	--

直結式給水についての協議書

課 長	係 長	係 員	照 合

設計水圧調査 ☐ 無 ・ ☐ 有 () [設計水圧 MPa]

〔 受 付 〕	令和 年 月 日	協議番号	
工 事 種 別	☐ 新 設 工 事 ☐ 改 造 工 事 ☐ 給水方式変更工事	(改造) 水 道 番 号 メーター口径 φ mm	(特 記) 地付・屋内はメーターの位置を示す
協 議 区 分	2 階 以 下 ☐ 地付 ☐ 屋内	中 高 層 (3 階 以 上) ☐ 直圧地付 ☐ 直圧屋内 ☐ 増圧地付 ☐ 増圧屋内	
申 請 地	仙台市 区		
申 請 者 住 所			
氏 名			
※法人の場合は、記名押印してください。 法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。			
開発負担金については、仙台市水道事業給水条例第 33 条の 3、同施行規程第 22 条の 2 の規定に合意します			
建 物 概 要	建築物名		用途業態
	☐ 新築	地上 階 ・ 地下 階 ・ 総 戸 数 戸 ・ その他 個	
	☐ 既存	協議階数(～) 階 ・ 協議戸数 戸 ・ その他 個	
計 画 使 用 水 量	プール ℓ その他 ℓ	前回協議水量 ℓ / 日 計 画 水 量 ℓ / 日 今回協議水量 ℓ / 日	
本管管種口径	DIP・VP・PE・PP φ mm		給水方式併用 無 ・ 有
取 出 管 口 径	新規 ・ 既設 φ mm		減 圧 弁 無 ・ 有
メーター 関 係	☐ 新規 ☐ 既設	全 体 φ mm × 個() φ mm × 個() φ mm × 個() φ mm × 個()	計 個
増 圧 設 備	メーカー名 (型式名)		
工 期 (予 定)	令和 年 月 ～ 令和 年 月		装置廃止 件 分岐止 mm × mm ×
既設給水装置 (改造分含)	無 ・ 有	水 道 番 号 (受水槽番号) 取出口径 mm メーター口径 mm	計 か所

建築物開発負担金(対象・対象外)

控 除 水 量(対象・対象外)

協議者・会社名

TEL

担当者

直結直圧式給水条件承諾書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

協議番号	—	水道番号	～
申請地	仙台市 区		
建築物名			
申請者（所有者） 住所・氏名	(電話 — —)		
建築物管理者（管理人）住所・氏名	(電話：平日 — —) (電話：休日・夜間 — —)		

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

直結直圧式による給水のために、下記の条件を承諾いたします。

記

1. 使用者等への周知

次の特徴を理解し、使用者等に周知させるとともに、水道局に対し給水についての一切の異議・申し立てをしないこと。

- ① 事故時、水道施設の工事等による断水や、水道施設の工事等による一次的な水圧低下や濁水発生に伴う出水不良等が生じた場合は、受水槽のような貯留機能がないため、水が使用できなくなる。

なお、上記の際には建築物内広報等にも協力すること。

2. 損害の補償

本給水方式に起因して逆流又は漏水が発生し水道局若しくはその他の使用者に損害を与えた場合は、責任を持って補償すること。

3. 所有者等の変更

申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）を変更するときは、変更後の申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）にこの条件承諾書を継承するとともに、本様式にて承諾書を作成し水道局提出すること。

4. 既設配管使用の責任

既設受水槽以下の装置を使用し、直結直圧式給水に変更した場合、これに起因する漏水等の事故については所有者又は使用者等の責任において解決するとともに、水道局の指導に従いすみやかに改善すること。

5. メーター交換時の措置及び入館協力

- ① 計量法に基づく水道メーターの取り替え及び水道メーターの異常等による取り替えの際には、水道局に協力し断水することを承諾すること。
- ② 水道局が行う水量・水圧・漏水防止等の調査について協力すること。
- ③ オートロックマンション等の検針・料金徴収業務等及びメーター交換業務時の入館について協力すること。

6. 条例・規程の遵守

上記各項の他、取扱上必要な事項は、仙台市水道事業給水条例・同施行規程を遵守して施行すること。（給水装置の管理上の責任は所有者、使用者の方々ご自身にあります。（仙台市給水条例第17条））

7. 上記事項の条件を使用者等に周知徹底し、本給水方式に起因する紛争等については当事者間で解決し、水道局に一切迷惑をかけないこと。

直結増圧式給水条件承諾書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

協 議 番 号	—	水道番号	～
申 請 地	仙台市 区		
建 築 物 名			
申請者（所有者） 住所・氏名	(電話 — —)		
建築物管理者（管 理人）住所・氏名	(電話：平日 — —) (電話：休日・夜間 — —)		

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

直結増圧式による給水のために、下記の条件を承諾いたします。

記

1. 使用者等への周知

次の特徴を理解し、使用者等に周知させるとともに、水道局に対し給水について一切の異議・申し立てをしないこと。

- ①水道施設の工事等に伴う断水・濁水に対応するため増圧設備の操作（停止及び復旧に係るもの）及びメンテナンスを必要とするときは申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）の責任で行うこと。なお水道局からの通知に拘らず増圧設備の操作を怠ったことに起因する増圧設備並びにメーター以降の給水用具の故障等については、水道局では一切の補償を行わないこと。
- ②停電・設備の故障、災害等による水道施設の事故等、水道施設の工事等による、水圧低下に伴い出水不良等が生じたときには、非常用水栓を使用すること。
- ③水道局が行う計画的な断水時及び緊急的な断水時には建築物内広報等にも協力し、受水槽のような貯留機能がないため、水の使用ができなくなることを。

2. 損害の補償

本給水方式に起因して逆流又は漏水が発生し水道局若しくはその他の使用者に損害を与えた場合は、責任を持って補償すること。

3. 定期点検及び修理

直結増圧設備の機能を適正に保つため適宜、保守点検及び修理を行うと共に、1年以内ごとに1回以上の定期点検を行うこと。

4. 所有者等の変更

申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）を変更するときは、変更後の申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）にこの条件承諾書を継承するとともに、本様式にて承諾書を作成し水道局に提出すること。

5. 既設配管使用の責任

既設受水槽以下の装置を使用し、直結増圧式給水に変更した場合、これに起因する漏水等の事故については所有者又は使用者等の責任において解決するとともに、水道局の指導に従いすみやかに改善すること。

6. メーター交換時の措置及び入館協力

- ① 計量法に基づく水道メーターの取り替え及び水道メーターの異常等による取り替えの際には、水道局に協力し断水することを承諾すること。
- ② 水道局が行う水量・水圧・漏水防止等の調査について協力すること。
- ③ オートロックマンション等の検針・料金徴収業務及びメーター交換業務時の入館について協力すること。

7. 条例・規程の遵守

上記各項の他、取扱上必要な事項は、仙台市水道事業給水条例・同施行規程を遵守して施行すること。（給水装置の管理上の責任は所有者、使用者の方々ご自身にあります。（仙台市給水条例第17条））

8. 上記事項の条件を使用者等に熟知させ、本給水方式に起因する紛争等については当事者間で解決し、水道局に一切迷惑をかけないこと。

課 長	係 長	係 員

申請者変更届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 請 地	仙台市 区
建 築 物 名	
協議受付年月日	令和 年 月 日
協 議 番 号	第 ー 号

上記直結式給水についての協議に関し、以下理由により申請者を
旧 申請者 から
新 申請者 に
変更することを届出ます。

変更理由

また、今回の申請者変更に伴い、旧申請者が納入した建築物開発負担金、
一金 円也については、その権利が新申請者に帰属
することについても併せて届出ます。

旧 申請者 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

新 申請者 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

課 長	係 長	係 員

直結式給水についての協議の取消届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 請 地	仙台市 区
建 築 物 名	
協 議 受 付 年 月 日	令和 年 月 日
協 議 番 号	第 一 号
工 事 内 容	新設 ・ 改造 ・ 給水方式変更
取 消 理 由	

上記直結式給水についての協議を取消したいので、届出ます。

申 請 者 住 所.....

氏 名.....

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

水 圧 調 査 番 号	第 一 号	受 付 日	令和 年 月 日
-------------	-------	-------	----------

課 長	係 長	係 員

設計水圧調査等申請書

仙台市水道事業管理者 様

申請者住所	
氏 名	電話 ー ー

下記の建物に給水（ ☐ 直結直圧式 ☐ 直結増圧式 ☐ 受水槽式 ）したいので
（ ☐ 設計水圧調査 ☐ 分岐の可否の確認 ）を申請します。

1. 申 請 地	仙台市 区	水圧分布図	MPa 区域
2. 建 築 物 名		用途業態	
3. 建築物概要	☐ 新築 ☐ 既存	地上 階・地下 階・総戸数	戸
4. 計画使用水量	全体 L/日		
5. 本管管種口径	DIP ・ VP ・ CIP ・ PP ϕ mm		
6. 分岐口径(予定)	ϕ mm		
7. 工 期 (予定)	令和 年 月 ～ 令和 年 月		

備 考

◆ 添付書類 ① 位置図
② 仙台市水道配管管理図
③ 給水装置台帳（既存建物の場合） } ファイルに綴じ2部提出

・ 用途業態欄には、内訳を具体的に記載する。

◎ 水圧調査は、2 ～ 3 週間程度かかりますので、早めに申請してください。

令和 年 月 日

設計水圧調査等回答書

申請者住所 _____

氏 名 _____ 様

電 話 _____

仙台市水道事業管理者
(公 印 省 略)

設計水圧調査結果について

水 圧 調 査 番 号	第 一 号
申 請 地	仙台市 区
建 築 物 名	

令和 年 月 日 付で調査依頼のありました申請地の設計水圧等について、
付近配水管の水圧状況、及び管網状況を調査した結果、次のとおり回答いたします。

☐ 分岐可 ☐ 分岐不可

配水管水圧は、 _____ MPa で設計することができます。

備考

◎ 下記を考慮、厳守し設計を行ってください。

- ・ 配水管の切替工事や災害等の事故による、計画的あるいは緊急的な断水、減水、濁り水等を伴うことがあります。給水方式によるメリット、デメリットを十分考慮のうえ、最適な給水方式を採用して下さい。
- ・ 給水装置の設計に当たっては、『給水装置工事施行要領』に基づいて設計して下さい。
- ・ 増圧給水方式となる場合は、維持管理を十分考慮した建築構造とする必要があります。
- ・ 当該地の配水管水圧が変更になる場合がありますので、回答後1年を経過した場合は、局と協議し必要に応じ再調査となります。
- ・ 建築物協議時には本書を持参（添付）して下さい。（コピー可）

仙台市水道局 給水部 給水装置課 設備指導係
電話 (代) (022) 304 - 0043担
当

給水方式変更条件確認書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

協 議 番 号	—	水道番号	～
申 請 地	仙台市 区		
建 築 物 名			
申 請 者 住 所 氏 名			

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が署名しない場合は、記名押印してください。

給水方式変更をするにあたり、下記の条件を確認いたします。

記

1. 提出図書類

水道事業者に給水方式変更の承認を申し込むにあたり、当該工事に関し、次の図書類を入手又は作成し、提出します。

□（１） 更生工事履歴のない受水槽給水設備から、直結給水方式に切替える場合

提出図書類	確認欄
・既設配管の材料等確認書	☐
・水質試験成績証明書	☐
・誓約書（必要に応じ）	☐
・その他局が求めた図書	☐

□（２） 更生工事を施工した履歴があり、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が明らかな場合

提出図書類	確認欄
・塗料の浸出性能基準適合証明書。ただし、第三者 認証品の場合の該当機関の認証登録証の写し	☐
・ライニングによる更生工事施工時の施工計画書	☐
・更生工事の施工計画書（写真添付）	☐
・浸出性能確認の水質試験成績証明書	☐
・誓約書（必要に応じ）	☐
・その他局が求めた図書	☐

□（３） 更生工事を施工した履歴があり、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が確認できない場合

提出図書類	確認欄
・浸出性能試験成績証明書	☐
・誓約書（必要に応じ）	☐
・その他局が求めた図書	☐

*該当する工事、図書をチェックしてください。

事 前 確 認 事 項

受水槽式給水設備を直結給水方式に変更する工事を申し込む者は、事前に次の（１）～（３）に掲げる場合に応じ、該当する事項を実施、確認する。

- （１） 更生工事履歴のない受水槽給水設備から、直結給水方式に切替える場合
 - ① 既設配管の材質
 - ・「給水装置の構造及び材質の基準」（以下、「構造材質基準」という。）に適合した製品が使用されていることを現場及び図面にて確認する。
 - ・構造材質基準に適合した製品が使用されていない場合は、同基準に適合した給水管、給水用具に取り替える。
 - ・埋め込み等により確認が困難な場合は、水道事業者の判断を求める。
 - ② 既設配管の耐圧試験
 - ・耐圧試験における水圧は、 0.75MPa とし、加圧時間については、給水装置工事施行要領による。
 - ③ 水質試験
 - ・直結給水切替え前において、水道法第 20 条第 3 項に規定する者による水質試験を行い、水道法第 4 条に定める水質基準を満足していることを確認する。
 - ・採水方法は、毎分 5 L の流量で 5 分間流して捨て、その後 15 分間滞留させたのち採水するものとする。
 - ・試験項目は、味、臭気、色度、濁度のほか、水道事業者との協議結果に応じて、鉄、 pH 等の水質試験を実施する。
- （２） 更生工事を施工した履歴があり、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が明らかな場合
 - ① 既設配管の材質
 - ・ライニングに使用された塗料が構造材質基準に適合した製品である場合は、施工計画書（工法、塗料、工程表等）及び施工計画に基づく施工報告書（写真添付）並びに塗料の浸出性能基準適合証明書の確認を行う。
 - ・なお、塗料が第三者認証品である場合は、浸出性能基準適合証明書に代えて認証登録証の写しとすることができる。
 - ② 既設配管の耐圧試験
 - ・耐圧試験における水圧は、 0.75MPa とし、加圧時間については、給水装置工事施行要領による。
 - ③ 浸出性能確認の水質試験
 - ・適切な施工が行われたことを確認するため、現地にて水道水を毎分 5 L の流量で 5 分間流して捨て、その後 15 分間滞留させた水を採水するとともに、管内の水をすべて入れ替えた後の水を対照水（ブランク）として採取し、公的検査機関で水質検査を行い、構造材質基準に基づく浸出等に関する基準を満足していることを確認する。
 - ・試験項目は、味、臭気、色度、濁度のほか、更生工事に使用された塗料から浸出する可能性のある項目とする。
- （３） 更生工事を施工した履歴があり、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が確認できない場合
 - ① 既設配管の耐圧試験
 - ・耐圧試験における水圧は、 0.75MPa とし、加圧時間については、給水装置工事施行要領による。
 - ② 浸出性能試験
 - ・ライニングに使用された塗料については、既設給水管の一部をサンプリングし、それを供試体として公的検査機関で構造材質基準に基づく浸出性能試験を行い、浸出等に関する基準に適合していることを確認する。
 - ・既設給水管のサンプリングが困難であり、浸出性能試験が実施できない場合は、現地にて水道水を 16 時間滞留させた水（給水設備のライニングされた管路内の水であって、受水槽等の水が混入していないもの）を採取するとともに、管内の水をすべて入れ替えた後の水を対照水（ブランク）として採取し、公的検査機関で水質試験を行い、浸出等に関する基準を満足していることを確認する。
この場合において、一度の採水で 5 L の水量を確保できない場合は、同じ操作を繰り返し行い、水量を確保する。
 - ・試験項目は、味、臭気、色度、濁度のほか、浸出等に関する基準別表第 1 のすべての項目を行う。

令和 年 月 日

既設配管の材料等確認書

申 請 地：

建築物名：

上記建築物において、既設配管及び給水用具の材質は「給水装置の構造及び材質の基準」に適合した製品が使用されている事を確認しました。

また、既設管についても 0.75MPa にて耐圧試験を行い、水漏れ等が生じないことを確認しました。

指定給水装置工事業者

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

主任技術者

※主任技術者本人が署名しない場合は、記名押印してください。

交付番号

受 水 槽 関 係

様式番号	様 式 名	備 考
受 1	受水槽式給水についての協議書	
受 2	受水槽式給水についての工事申込書	
受 3	各戸計量徴収協議書（受水槽式給水）	
受 4	受水槽式給水についての工事しゅん工届	
受 5	受水槽以下設備工事しゅん工図	裏面あり A 3 で提出
受 6	申請者変更届	
受 7	受水槽式給水についての工事代理人変更届	
受 8	受水槽式給水についての協議の取消届	
受 9	受水槽式給水についての工事取消届	
受 10	貯水槽水道の適正管理等に関する条件承諾書	裏面あり
受 11	高置受水槽等（直圧式）給水条件承諾書	
受 12	高置受水槽等（増圧式）給水条件承諾書	

受水槽式給水についての協議書

課 長	係 長	係 員	照 合

〔 受 付 〕	令和 年 月 日	協議番号	設計水圧 MPa
工 事 種 別	☐ 新 設 工 事 ☐ 改 造 工 事 ☐ 受水槽以降改造工事	(改造) 水 道 番 号 受水槽番号	(特 記)
申 請 地	仙台市 区		
申 請 者 住 所			
氏 名	※法人の場合は、記名押印してください。 法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。		
開発負担金については、仙台市水道事業給水条例第 33 条の 3、同施行規程第 22 条の 2 の規定に合意します			
建 物 概 要	建築物名		用途業態
	☐ 新築	地上 階・地下 階 ・ 総 戸 数 戸・その他 個	
	☐ 既存	協議階数(～) 階 ・ 協議戸数 戸・その他 個	
計 画 使 用 水 量	プール 0 その他 0	前回協議水量 0 /日 計 画 水 量 0 /日 今回協議水量 0 /日	
本管管種口径	DIP・VP・PE・PP φ mm	各戸計量徴収 無 ・ 有 (計 個)	
取 出 管 口 径	新規 ・ 既設 φ mm	φ mm 個 ・ ()	
メーター口 径	新規 ・ 既設 φ mm	φ mm 個 ・ ()	
受水槽以降 方 式	☐ ポンプ直送方式 メーカー 機 種	☐ 高置水槽方式 ☐ " (多段式) ☐ 蓄圧タンク方式	給水方式併用 無 ・ 有 減 圧 弁 無 ・ 有
受 水 槽	新・既	W D H 有効H 設置場所 有効容量	
		× × () ・ 0	
		× × () ・ 0	
高 置 水 槽 (副・中間)	新・既	× × () ・ 0	
		× × () ・ 0	
		× × () ・ 0	
工 期(予定)	令和 年 月 ～ 令和 年 月		装置廃止 件
既設給水装置 (改造分含)	無 ・ 有	水 道 番 号(受水槽番号)	分岐止 mm×mm×
		取 出 口 径 mm メーター口 径 mm	計 か所

建築物開発負担金(対象・対象外)

控 除 水 量(対象・対象外)

協議者・会社名

TEL

担当者

副協議書返却日		給水工事申込日	
---------	--	---------	--

課 長	係 長	係 員
協議番号 ー		

受水槽式給水についての工事申込書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

1. 申 請 地 仙台市 区
2. 建 築 物 名
3. 受 水 槽 番 号 第 号
4. 工 事 種 別 新設 ・ 改造 ・ 受水槽以降改造
5. 各戸計量徴収 無 ・ 有 メーター数 () 個

委 任 状	
委 任 事 項	上記受水槽式給水についての工事の申込み及び取り消しに関する一切，ならびに手数料（加入金を除く）の納入に関する一切。
工 期	令和 年 月 ～ 令和 年 月
申 請 者 (委任者)	住 所 氏 名
代 理 人	住 所 氏 名

※法人の場合は，記名押印してください。
法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

上記のとおり受水槽式給水についての工事を施工したいので，申し込みます。

代 理 人 住 所

氏 名

※法人の場合は，記名押印してください。
法人以外でも，本人（代表者）が自署しない場合は，記名押印してください。

整理 番号		協議番号	—			新設 改造 受水槽以降改造
		協議月日	令和	年	月 日	

各戸計量徴収協議書（受水槽式給水）

1. 申 請 地	仙台市 区				
2. 建築物概要	建築物名			用途業態	
	☐ 新築 ☐ 既存	地上 階 ・ 地下 階 ・ 総戸数 戸			
3. メーター関係	親メーター	各戸計量メーター 用 途			
	φ mm	φ mm × 個 ()			
		φ mm × 個 ()			
		φ mm × 個 ()	合 計	個	
4. 受水槽関係	設置場所 () ・ 受水槽以降の給水方式 (ポンプ直送 ・ 高置水槽)				
5. メーター設置	パイプシャフト内の設置については、下記参考事項を遵守し施工します。				

注意：水道局の各戸計量開始日について、協議終了後に営業課計量係と、手続きや切替日等について打合せをする。事前の打合せがないと、局検針は開始されません。

【 参考 】 パイプシャフト内のメーター設置は、下記事項を遵守し施工する。

- ① 各メーター室の寸法は、有効開口部で、幅 450mm×高さ 450mm×奥行き 300mm 以上とし、この空間にガス、電気メーター・給湯器・排水管等、他の構造物の干渉がない。
- ② パイプシャフト内の各戸メーター前後の配管（給水用具）は、メーターユニットを使用する。
 - ・メーターユニットの設置は、メーター室開口部左右より中央に位置し上端より 300mm 以上の間隔をとり、手前寄りに水平に設置する。
 - ・減圧弁を設置する場合はメーターユニットの上流側に設置する。
- ③ 凍結防止のため、各メーター室の給水管・メーターユニットには凍結防止加温器・カバー（ポリスチレンフォーム製）で保温工を施す。
 - ・凍結防止加温器は共用電源を使用し、メーターユニット 1 個に 1 セット取り付け、メーター部のヒーター巻きは、メーターの下をはわせて巻く。
 - ・保温カバー及び保温材は、すき間ができない様に留意し、部屋番号を明記する。
- ④ 吸排気弁には、通水開始時等における水の飛散防止用の間接排水の設備を設けるなど、適切な措置を講ずる。
- ⑤ 漏水等により階下に影響を及ぼさないよう、水はけに必要なスラブの水勾配・排水口等、防水且つ排水に必要な措置を講ずる。
- ⑥ 各戸メーター室の扉には、鍵を原則として設置しない。取り付ける場合は共用使用できるタキゲン A-147 を使用する。
- ⑦ オートロックマンション等の、メーター検針・料金徴収業務等及びメーター交換時の入館については配慮する。
その他、施行要領「第 6 章 第 1 節 3 メーターの設置」による。

〔給水装置工事施行要領より〕

受水槽式給水についての工事しゅん工届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

1. 申 請 地 仙台市.....区.....
2. 建 築 物 名
3. 水 道 番 号 第.....号
4. 受 水 槽 番 号 第.....号
5. 協議受付年月日 令和 年 月 日
6. 協議受付番号 第 一 号
7. 工 事 内 容 新設 ・ 改造 ・ 受水槽以降改造
(給水方式併用 無 ・ 有)
8. 各戸計量徴収 無 ・ 有 (メーター数 個)
9. しゅん工年月日 令和 年 月 日

受水槽式給水についての工事が上記のとおりしゅん工したので、届け出ます。

申 請 者 住 所

(委 任 者) 氏 名

代 理 人 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

取扱者印

受 水 槽 番 号	水 道 番 号	決 裁	給 水 装 置 課 長	設 備 指 導 係 長	係 員

受水槽以下設備工事しゅん工図

協 議 受 付 年 月 日	令和 年 月 日	工 事 種 別	新設 ・ 改造 ・ 受水槽以降改造	
協 議 受 付 番 号	第 一 号	給 水 方 式 併 用	無 ・ 有 () 併用階数 (一)	
開 発 負 担 金	無 ・ 有 (円)	受 水 槽 以 下 設 備 工 事	申 込 年 月 日	令和 年 月 日
各 戸 計 量 徴 収	有 (メーター口径×個数) 無 (私設メーター×個数)		しゅん工年月日	令和 年 月 日

設 置 場 所				建 築 物 概 要	建 築 物 名							
申 請 地	仙台市 区				☐ 新 築 ☐ 既 存	用途業態						
申 請 者 住 所					階数 (全体階数) (協議階数)	地上 階 ・ 地下 階 ・ 総個数 戸						
申 請 者 氏 名						(～) 階 ・ () 戸						
計画一日最大給水量				設 備 等 概 要								
一 般 用 水 量	L			本 管 管 種 口 径	φ mm		受 水 槽 以 降 機 種	☐ ポンプ直送方式 ☐ 高置水槽方式	減圧弁			
プ ー ル	L			取 出 口 径	新設 ・ 既設 φ mm			☐ " (多段式)				
そ の 他	L			メ ー タ ー 口 径	新設 ・ 既設 φ mm			☐ 蓄圧タンク方式		無 ・ 有		
受 水 槽				副 ・ 中 間 水 槽			高 置 水 槽			蓄圧タンク		
新 設 ・ 既 設	設置場所 ・ 材質			新 設 ・ 既 設	設置場所 ・ 材質			新 設 ・ 既 設	設置場所 ・ 材質			
	W D H 有効H	W D H 有効H	W D H 有効H		呼称							
	× × ()	× × ()	× × ()		L							
	× × ()	× × ()	× × ()									
	× × ()	× × ()	× × ()									
有効容量 L			有効容量 L			有効容量 L			有効 L			

位 置 図	N 4 +	受 付	指定給水装置	
			工 事 事 業 者	
電 話		主任技術者 番号		
氏 名				

課 長	係 長	係 員

申請者変更届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 請 地	仙台市 区
建 築 物 名	
協議受付年月日	令和 年 月 日
協 議 受 付 番 号	第 一 号

上記受水槽式給水についての協議に関し、以下理由により申請者を
旧 申請者 から
新 申請者 に
変更することを届出ます。

変更理由

また、今回の申請者変更に伴い、旧申請者が納入した建築物開発負担金、
一金 円也については、その権利が新申請者に帰属
することについても併せて届出ます。

旧 申請者 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

新 申請者 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

課 長	係 長	係 員

受水槽式給水についての工事代理人変更届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 請 地	仙台市 区
建 築 物 名	
協議受付年月日	令和 年 月 日
協議受付番号	第 一 号

上記にて協議した受水槽式給水についての工事に関し、以下のとおり代理人を変更しますので届け出ます。

旧 代 理 人 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

新 代 理 人 住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

申 請 者 住 所

（委任者） 氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

課 長	係 長	係 員

受水槽式給水についての協議の取消届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 請 地	仙台市 区
建 築 物 名	
協議受付年月日	令和 年 月 日
協議受付番号	第 一 号
工 事 内 容	新設 ・ 改造 ・ 受水槽以降改造
取 消 理 由	

上記受水槽式給水についての協議を取消したいので、届出ます。

申 請 者 住 所.....

氏 名.....

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

課 長	係 長	係 員

受水槽式給水についての工事取消届

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

申 請 地	仙台市 区
建 築 物 名	
協議受付年月日	令和 年 月 日
協議受付番号	第 一 号
工 事 内 容	新設 ・ 改造 ・ 受水槽以降改造
取 消 理 由	

上記受水槽式給水についての工事申込みを取消したいので、届出ます。

申 請 者 住 所.....
(委任者)

氏 名.....

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

代 理 人 住 所.....

氏 名.....

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

貯水槽水道の適正管理等に関する条件承諾書

○貯水槽水道の設置場所

○建築物名

貯水槽水道の設置(改造実施)に当たり、貯水槽水道が飲料水の安全を確保する極めて重要な施設であること、また、設置者としてその維持管理や衛生管理に関し責任を負う立場にあることを十分に認識し、上記貯水槽水道について下記の適正管理等に関する条件を承諾します。

記

1. 上記貯水槽水道を適正に管理(日常的な衛生管理や年一回の水槽清掃実施等)します。
2. 上記貯水槽水道について、管理に関する検査を年一回定期的に
受検します。(有効容量 5m^3 超の貯水槽水道)
受検するよう努めます。(有効容量 5m^3 以下の貯水槽水道)
3. 上記貯水槽水道について、以下の改造工事を実施する際には、協議の上水道事業管理者あて
工事の申込みを行います。
 - ① 高置水槽方式又は加圧ポンプ方式への方式変更工事
 - ② 受水槽の有効容量を変更する工事
 - ③ 受水槽以外の水槽の更新工事(有効容量、材質、設置場所等に変更のあるもの)
 - ④ 建築物の改修等に伴って水使用の用途や計画使用水量に変更が生じる給水設備の工事
4. 上記貯水槽水道について、設備構造に変更が生じる場合や保健所への届出内容に変更が生じる
場合には、所管する保健所長あて 届出を行います。(有効容量 5m^3 超の貯水槽水道)
届出するよう努めます。(有効容量 5m^3 以下の貯水槽水道)
5. 貯水槽水道の適正管理促進のため、必要な情報を水道局が保健所に提供すること。
6. 建築物の売買等により設置者変更となる場合には、本承諾書に記載された事項を新たな設置者
に継承します。

令和 年 月 日

貯水槽水道設置者

住 所

氏 名

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人(代表者)が自署しない場合は、記名押印してください。

管理に関する検査について(水質検査のことではありません！)

貯水槽水道の設置者は、法令等に基づいて定期的に年 1 回、管理に関する検査を受検しなければなりません。管理に関する検査について、水道法第 3 4 条の 2 第 2 項又は宮城県条例(簡易給水施設等の規制に関する条例)第 1 0 条の 3 の規定による登録検査機関のうち、仙台市を検査区域とする機関は、以下のとおりです。

(登録又は指定を受けた検査機関以外では、管理に関する検査を受けることはできません！)

(令和 4 年 7 月 1 日現在)

登録 番号	機関名	住所
37	公益財団法人 仙台市水道サービス公社	〒982-0015 仙台市太白区南大野田 29-1 電話 022-304-0164 FAX 022-304-1046
72	一般社団法人 宮城県公衆衛生協会	〒981-3111 仙台市泉区松森字堤下 7-1 電話 022-771-4722 FAX 022-776-8835
86	平成理研株式会社	〒321-0912 栃木県宇都宮市石井町 2856-3 電話 028-660-1700 FAX 028-660-1818
91	株式会社 新環境分析センター	〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸一丁目 76-1 電話 024-959-1771 FAX 024-959-1773
111	株式会社 丹野	〒990-2431 山形県山形市松見町 12-3 電話 023-641-1141 FAX 023-641-0825
112	株式会社 江東微生物研究所	〒133-0057 東京都江戸川区西小岩五丁目 18-6 電話 03-3671-5941 FAX 03-3672-1052
125	特定非営利活動法人 宮城県水道施設調査研究所	〒981-3102 仙台市泉区向陽台四丁目 7-14 電話 022-263-7740 FAX 022-263-7011
131	株式会社 大東環境科学	〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割 265 電話 019-698-2671 FAX 019-697-1660
160	公益財団法人 宮城県公害衛生検査センター	〒989-3126 仙台市青葉区落合二丁目 15-24 電話 022-391-1133 FAX 022-391-7988
161	永薬品商事株式会社	〒023-0889 岩手県奥州市水沢字高屋敷 24-1 電話 0197-24-4244 FAX 0197-25-2116
162	一般社団法人 青森県薬剤師会食と水の検査センター	〒030-0142 青森県青森市大字野木字山口 164-43 電話 017-762-3620 FAX 017-762-3660

管理に関する検査では、専門の検査員が以下の項目を中心にチェックします。

- 水槽本体の状態(水槽に亀裂や漏水がありませんか？)
- 水槽内部の状態(赤さびや汚泥の堆積、汚れなどありませんか？)
- 水槽の周辺の状態(水槽の周りにゴミや汚物がありませんか？)
- マンホールの状態(蓋が壊れたり、汚物やゴミが置かれたりしていませんか？)
- 通気管、オーバーフロー管の状態(防虫網が壊れて、害虫が侵入していませんか？)
- 給水栓における水質(臭気、味、色、色度、濁度、残留塩素を検査)
- 書類の整理及び保存の状態(清掃結果などを保存していますか？)

高置受水槽等（直圧式）給水条件承諾書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

協 議 番 号	—	水道番号	～
申 請 地	仙台市 区		
建 築 物 名			
申請者（所有者） 住所・氏名	(電話 — —)		
建築物管理者（管 理人）住所・氏名	(電話：平日 — —) (電話：休日・夜間 — —)		

※法人の場合は、記名押印してください。
法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

高置受水槽等（直圧式）による給水のために、下記の条件を承諾いたします。

記

1. 使用者等への周知

次の特徴を理解し、使用者等に周知させるとともに、水道局に対し給水についての一切の異議・申し立てをしないこと。

- ① 事故時、水道施設の工事等に伴う断水・濁水に対応するため、受水槽の操作（停止及び復旧に係るもの）又はメンテナンスを必要とするときは申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）の責任で行うこと。
- ② 必要に応じて水道局職員の受水槽周辺への立ち入りに協力すること。
- ③ 水道局からの通知があったにも拘らず受水槽の操作を怠ったことに起因するメーター以降の給水用具の故障等については、水道局では一切の補償を行わないこと。
- ④ 事故時、水道施設の工事等による断水や、水道施設の工事等による一次的な水圧低下や濁水発生に伴う出水不良等が生じた場合は、受水槽に給水できなくなること。
- ⑤ 水道局が行う計画的な断水時及び緊急的な断水時には建築物内広報等にも協力すること。

2. 損害の補償

本給水方式に起因して逆流又は漏水が発生し水道局若しくはその他の使用者に損害を与えた場合は、責任を持って補償すること。

3. 所有者等の変更

申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）を変更するときは、変更後の申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）にこの条件承諾書を継承するとともに、本様式にて承諾書を作成し水道局提出すること。

4. 既設配管使用の責任

既設受水槽以下の装置を使用し、本給水方式に変更した場合、これに起因する漏水等の事故については所有者又は使用者等の責任において解決するとともに、水道局の指導に従いすみやかに改善すること。

5. メーター交換時の措置及び入館協力

- ① 計量法に基づく水道メーターの取り替え及び水道メーターの異常等による取り替えの際には、水道局に協力し断水することを承諾すること。
- ② 水道局が行う水量・水圧・漏水防止等の調査について協力すること。

6. 条例・規程の遵守

上記各項の他、取扱上必要な事項は、仙台市水道事業給水条例・同施行規程を遵守して施行すること。（給水装置の管理上の責任は所有者、使用者の方々ご自身にあります。（仙台市給水条例第 17 条））

7. 上記事項の条件を使用者等に周知徹底し、本給水方式に起因する紛争等については当事者間で解決し、水道局に一切迷惑をかけないこと。

高置受水槽等（増圧式）給水条件承諾書

令和 年 月 日

仙台市水道事業管理者 様

協 議 番 号	—	水道番号	～	水圧調査番号	—
申 請 地	仙台市 区				
建 築 物 名					
申請者（所有者） 住所・氏名	(電話 — —)				
建築物管理者（管 理人）住所・氏名	(電話：平日 — —) (電話：休日・夜間 — —)				

※法人の場合は、記名押印してください。

法人以外でも、本人（代表者）が自署しない場合は、記名押印してください。

高置受水槽（増圧式）による給水のために、下記の条件を承諾いたします。

記

1. 使用者等への周知

次の特徴を理解し、使用者等に周知させるとともに、水道局に対し給水について一切の異議・申し立てをしないこと。

- ① 事故時、水道施設の工事等に伴う断水・濁水に対応するため、受水槽及び増圧設備の操作（停止及び復旧に係るもの）又はメンテナンスを必要とするときは申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）の責任で行うこと。
- ② 必要に応じて水道局職員の受水槽周辺への立ち入りに協力すること。
- ③ 水道局からの通知があったにも拘らず受水槽及び増圧設備の操作を怠ったことに起因する増圧設備並びにメーター以降の給水用具の故障等については、水道局では一切の補償を行わないこと。
- ④ 停電・設備の故障、災害等による水道施設の事故等、水道施設の工事等による、水圧低下に伴い出水不良等が生じたときには、受水槽に給水できなくなること。
- ⑤ 水道局が行う計画的な断水時及び緊急的な断水時には建築物内広報等にも協力すること。

2. 損害の補償

本給水方式に起因して逆流又は漏水が発生し水道局若しくはその他の使用者に損害を与えた場合は、責任を持って補償すること。

3. 定期点検及び修理

増圧設備の機能を適正に保つため適宜、保守点検及び修理を行うと共に、1年以内ごとに1回以上の定期点検を行うこと。

4. 所有者等の変更

申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）を変更するときは、変更後の申請者（所有者）又は建築物管理者（管理人）にこの条件承諾書を継承するとともに、本様式にて承諾書を作成し水道局に提出すること。

5. 既設配管使用の責任

既設受水槽以下の装置を使用し、本給水方式に変更した場合、これに起因する漏水等の事故については所有者又は使用者等の責任において解決するとともに、水道局の指導に従いすみやかに改善すること。

6. メーター交換時の措置及び入館協力

- ① 計量法に基づく水道メーターの取り替え及び水道メーターの異常等による取り替えの際には、水道局に協力し断水することを承諾すること。
- ② 水道局が行う水量・水圧・漏水防止等の調査について協力すること。

7. 条例・規程の遵守

上記各項の他、取扱上必要な事項は、仙台市水道事業給水条例・同施行規程を遵守して施行すること。（給水装置の管理上の責任は所有者、使用者の方々ご自身にあります。（仙台市給水条例第17条））

8. 上記事項の条件を使用者等に熟知させ、本給水方式に起因する紛争等については当事者間で解決し、水道局に一切迷惑をかけないこと。

